

TERRAMAPWEB2018

バージョンアップ作業にともなうご注意事項

1 動作 OS について

TerraMapWeb2018 は Windows10 / 8.1 / 7 以外の OS では動作致しません。
現在、Windows XP / Vista / 8 で動作しているコンピュータで TerraMapWeb をお使いの場合、OS 入れ替え、またはコンピュータを変更の上、TerraMapWeb2018 を新規インストールしてお使いください。

2 保存されている TMW ファイルについて

過去バージョン(TerraMapWeb Ver.8、TerraMapWeb2015、2016、2017)で作成した TMW ファイルは TerraMapWeb2018 で開く事ができます。
ただし、TerraMapWeb2018 を新規インストールしたコンピュータで開く場合は、作成バージョンに対応した「過去年度のポリゴンデータ」のインストールが必要です。

【TerraMapWeb 過去年度のポリゴンデータ】ダウンロードページ
https://www.mapmarketing.co.jp/cgi-bin/sup/tmw_pol_data_s2000.cgi

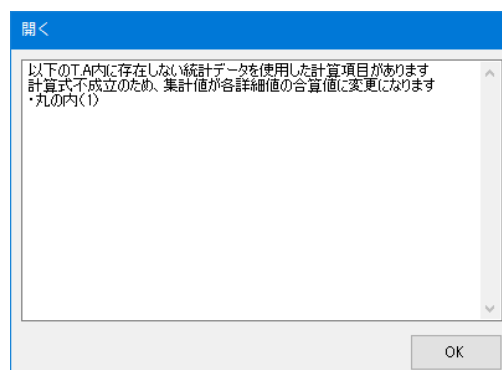
TerraMapWeb Ver7 以前で最終保存されている TMW ファイルを、TerraMapWeb2018 で開く場合は、一旦 TerraMapWeb Ver.8 でファイルを開き、上書き保存を行う事を推奨します。

【制限事項】
過去バージョンで作成した TMW ファイルではエリア編集や統計データの選択、TerraReport の作成等、一部の機能は使用できません。

3 計算結果項目のある T.A について

以下の 3 条件を満たす T.A が含まれている TMW ファイルを、TerraMapWeb2018 で開くとメッセージが表示されます、

- 過去バージョンで作成。
- 計算式で算出された項目が存在している。
- 計算で使用された元の項目が同一 T.A 内に集計されていない(削除している)。



TMW ファイル内に保存されている計算式が成立しないため、計算結果の値のみが保持されます。そのため、データビューアの「集計結果」で表示される数値が、「詳細値」の面積按分後の合算値に変更されます。
合算値に変更された T.A が存在する場合、開いた TMW ファイルは、もともとの TMW ファイルへの上書きを防ぐため、ファイル名末尾に「(変更有)」の文字が付加されます。

※ 弊社よりオプションでご提供の「年収別世帯推計データ」に含まれる「行政界平均年収」は、計算項目のため、この項目が集計されている T.A (行政界作成年 2016 年以前) が保存されている TMW ファイルを開くと、必ず上記のメッセージが表示され、データビューアの集計結果で表示される数値が、詳細値の面積按分後の合算値に変更されます。

4 郵便番号エリア体験版(TerraMapWeb2017 向け)をご利用の場合

郵便番号エリア体験版(TerraMapWeb2017 向け)は TerraMapWeb2018 にバージョンアップを行うと使用できなくなります。

※有償版をご導入頂くことで継続して使用可能となります。

また、TerraMap Web2017 で郵便番号エリア(体験版)を使用して作成された郵便番号エリアでエリア集計した T.A が含まれる TMW ファイルは開くことができなくなります。

TerraMapWeb2018 で当該ファイルを参照する場合は、バージョンアップの前に TerraMapWeb2017 で郵便番号エリア T.A を削除して保存して頂きますようお願い致します。

5 現在 TerraMapWeb Ver.8 以前をご利用の場合

TerraMapWeb Ver.8 から TerraMapWeb2018 へのバージョンアップは、大幅なシステムの変更が伴います。必ず、下記事項をご確認いただいたうえで作業を行ってください。

TerraMapWeb2018 と TerraMapWeb Ver.8 は、異なるアプリケーションとしてインストールされるため、TerraMapWeb Ver.8 のインストールされているコンピュータの場合、TerraMapWeb2018 と TerraMapWeb Ver.8 をどちらも使用する事が可能です。

※ TerraMapWeb Ver.8 と TerraMapWeb2018 を同時に起動することはできません。
同時に使用した場合、思わぬエラーの原因となります。

※ 一部システムファイルを TerraMapWeb2018 と TerraMapWeb Ver.8 を共通で使用しているため共存しているコンピュータで、どちらかのバージョンをアンインストールすると、他方のバージョンも起動することができなくなります。
TerraMapWeb2018 については、「環境設定」を管理者権限で実行することで、修復されます。
TerraMapWeb Ver.8 については、アンインストール後、再度セットアップを行ってください。

【データ・設定の移行について】

【TerraMapWeb Ver.7 以前をご利用の場合】

シンボルファイルやデータバンクファイルの変換ができない場合がございます。

シンボルファイル・データバンクファイルの移行を行う場合は、一旦 TerraMapWeb Ver.8 へのバージョンアップ後に、一度「起動～終了」処理を行い TerraMapWeb Ver.8 のファイルに変換を行った上で TerraMapWeb2018 への移行を推奨いたします。

【TerraMapWeb Ver.8 ダウンロードページ】

https://www.mapmarketing.co.jp/cgi-bin/sup/tmw_st_pack.cgi

TerraMapWeb Ver.8 のプログラムがアンインストールされた状態であっても、ファイルは残っているためデータの移行は可能です。

※ データの移行に必要な、TerraMapWeb Ver.8 のファイルは以下の通りです。

※ 以下のフォルダ・ファイルが存在しない場合、移行することはできません。

【データバンク】	C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名) ¥AppData¥Roaming¥Terra¥TMW¥databank 上記フォルダ内のすべてのファイル
【シンボル】	C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名)¥AppData¥Roaming¥Terra¥TMW¥mdb 上記フォルダ内の「NewSymbolDB.mdb」ファイル
【アイコン】	C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名)¥AppData¥Roaming¥Terra¥TMW¥symbol 上記フォルダ内のすべてのファイル

※ ただし、移行可能なデータは以下の通り限定されます。次に記載しているデータ・設定以外は、移行できません。再度作成を行ってください。

【データベースのデータ・設定の移行について】

TerraMapWeb2018 で「TerraMapWeb Ver.8 データバンクファイル変換」を行うことで、閲覧・編集が可能になります。

詳しくは、「[TerraMapWeb2018 セットアップマニュアル](#)」をご参照ください。

【制限事項】

- データバンク条件設定は、TerraMapWeb2018 に移行できません。必要な場合は、再度、条件設定の作成を行ってください。
- コード別サマリされているデータバンクは、TerraMapWeb2018 に移行できません。必要な場合は、再度、コード別サマリ処理を行ってください。
- データバンク数が 2000 件を超えている、または、データバンク内の総レコード数が 1000 万レコードを超えている場合(コード別サマリ済データを除く)は、変換処理を行えません。変換できない場合は、TerraMapWeb Ver.8 でデータバンク数を減らして変換を行ってください。

【シンボルのデータ・設定の移行について】

TerraMapWeb2018 で「TerraMapWeb Ver.8 シンボルファイル変換」を行うことで、閲覧・編集が可能になります。

詳しくは、「[TerraMapWeb2018 セットアップマニュアル](#)」をご参照ください。

【制限事項】

- ルート表示設定は、TerraMapWeb2018 ではご利用いただけません。その他のシンボルに関わる設定(シンボルレンジ設定・条件設定・アイコンパターン設定・サイズパターン設定等、すべての設定)は、TerraMapWeb2018 用に変換可能です。
- シンボルグループ数が 200 グループを超えている、または、シンボル全グループの総レコード数が 100 万レコードを超えている場合(コード別サマリ済データを除く)は、変換処理を行えません。変換できない場合は、TerraMapWeb Ver.8 でシンボル数を減らして変換を行ってください。

【アイコンファイルの移行について】

TerraMapWeb2018 初回起動時に、TerraMapWeb Ver.8 のアイコンファイルを TerraMapWeb2018 で使用できるように自動的に変換を行います

【制限事項】

初回起動時以外は自動的に変換されませんので、TerraMapWeb2018 でアイコンを初期化等された場合は、再度アイコンの設定が必要になります。

※ 上記に記載以外のデータ・設定(ユーザ統計データ・マクロ設定・地図表示スタイル設定・メモ・図形・ポジション・カラーパターン・その他各種設定等)はすべて移行できません。

【バックアップファイルについて】

TerraMapWeb Ver.8 メンテナンスツールで作成したバックアップファイルを、TerraMapWeb2018 でリカバリする事はできません。同様に TerraMapWeb2018 で作成したバックアップファイルを、TerraMapWeb Ver.8 でリカバリする事もできません。

TerraMapWeb Ver.8 メンテナンスツールでバックアップしたファイルを TerraMapWeb2018 で読み込むためには、TerraMapWeb Ver.8 でリカバリ後に、前述の移行処理を行ってください。

※ 各【制限事項】は同様です。

【その他の制限事項】

保存されている T.A の数が 200T.A を超えているか、または、集計されている項目数が 250 項目を超えている T.A が保存されている TMW ファイルは、TerraMapWeb2018 で開くことはできません。

集計単位に「リビング新聞」の T.A のみが保存されている TMW ファイルは、TerraMapWeb2018 で開くことはできません。

集計単位「リビング新聞」の T.A とその他の T.A が混在して保存されている TMW ファイルは、集計単位「リビング新聞」の T.A を除いた T.A のみを読み込みます。

集計単位にリビング新聞以外の「オプションエリア」を選択して作成した T.A が含まれる TMW ファイルを開くには、「オプションデータのダウンロードとインストール」で各オプションエリアに対応したポリゴンと統計データのインストールが必要です。

【集計単位「オプションエリア」(リビング新聞除く)の T.A とは】

新聞折込エリアの各媒体、小学校区、用途地域などのエリアで集計されている T.A を指します。

新聞折込エリアについては、TMW ファイルに保存されている T.A に対応したエリア Ver の新聞折込エリアデータ [ポリゴンデータ]と最新版の新聞折込エリアデータのインストールが必要です。

【行政界作成年/エリア Ver の確認方法】



- ① TerraMapWeb Ver.8 を起動し、TMW ファイルを開きます。
- ② 画面右 [コントロールパネル][T.A]タブ[T.A 一覧]を確認し、行政界作成年/エリア Ver を確認したい T.A を選択(青反転)します。
- ③ [T.A 一覧]下の[T.A インフォメーション]内の「行政界作成年/エリア Ver.」をご確認ください。

※ T.A ごとに行政界作成年/エリア Ver.が保存されています。

※ TerraMapWeb Ver.7 以前で作成された T.A の場合も、確認可能です。

【行政界作成年と TerraMapWeb バージョン対応表】

T.A 作成バージョン	行政界作成年 (Ver.)
TerraMapWeb 2017	2016 年 (2016.001)
TerraMapWeb 2016	2015 年 (2015.001)
TerraMapWeb 2015	2014 年 (2014.001)
TerraMapWeb Ver.8	2014 年 (2014.001)
TerraMapWeb Ver.7	2013 年 (2013.001)
TerraMapWeb Ver.6	2012 年 (2012.001)
TerraMapWeb Ver.5	2011 年 (2011.001)
TerraMapWeb Ver.4	2010 年 (2010.001)
TerraMapWeb Ver.3	2009 年 (2009.001)
TerraMapWeb Ver.2	2008 年 (2008.001)
TerraMapWeb Ver.1	2007 年 (2007.001)

※ 過去に TerraMapWeb のシステムのみを更新し、標準搭載データを更新されていない場合、T.A 作成バージョンと行政界作成年は、必ずしも一致いたしません。

6 DataSync ご利用時の注意事項

【DataSync (ver.5.1) のご利用について】

DataSync (ver.5.1)は TerraMapWeb2018 に非対応となっております。
TerraMapWeb2018 対応の DataSync Series2000 をセットアップしてご利用ください。
※ DataSync (ver.5.1)で作成されたグループやサーバーの設定は移行できません。
TerraMapWeb2018 対応の DataSync Series2000 にて、環境を作成する必要がございます。
詳しくは[\[ご利用中の DataSync のバージョンアップとデータ移行について\]](#)をご参照ください。
DataSync Series2000 は、「[TerraMapWeb 拡張ツール](#)」からダウンロード可能です。

DataSync Series2000 をご利用中の場合、バージョンアップは不要です。

7 TerraMapWeb2015 及び 2016 ご利用時の注意事項

【各種データの移行について】

TerraMapWeb2015 及び 2016 で作成したデータのうち、以下のデータは引き継ぐことが出来ません。

・[オブジェ表示]の[施設表示]で作成した施設情報

TerraMapWeb2018 で表示する場合は[オフィシャルシンボル]機能から再作成してください。

8 新聞折込エリアをお使いのユーザー様へ

【新聞折込エリアデータのリリースについて】

国勢調査 2015 に早期対応するため、TerraMapWeb2018 バージョンアップに合わせて通常よりも早めにリリース
させていただきました。(2017 年 10 月版)

バージョンアップと併せてデータのインストールを行なってください。

【データダウンロードページ】

https://www.mapmarketing.co.jp/cgi-bin/sup/tmw_st_pack_s2000.cgi

TerraMapWeb2018 バージョンアップに伴う注意事項
2017 年 12 月 5 日版

マップマーケティング株式会社

■本社

東京都渋谷区道玄坂 2-23-12

フォンティスビル 8F

TEL:03-6455-0478 FAX:03-6455-0479

■大阪支店

大阪府大阪市北区梅田 1-1-3-500

大阪駅前第 3 ビル 5F-10

TEL:06-6105-5960

●サポート専用ダイヤル:050-3539-7689

●サポート専用アドレス:support@mapmarketing.co.jp